

「天皇盃 全国男子駅伝」優勝チーム・入賞チームへ 陶器トロフィーを授与 ～平和記念公園の“折り鶴”灰を活用した初作品～

株式会社大創産業（広島県東広島市 代表取締役社長：矢野靖二）は、2020年1月19日に開催された「天皇盃 全国都道府県対抗男子駅伝競走大会（略称：天皇盃 第25回全国男子駅伝）」のメインスポンサーとして優勝した長野県チームと入賞した8位までのチームへトロフィーの授与を行いました。大会のスポンサーを務めるのは6回目ですが、今年はいじめて地元高校生のデザインによる陶器製のトロフィーを授与いたしました。

大創産業は、本大会をスポーツの振興とともに世界平和を国内外に発信する絶好の機会と捉え、平和のシンボルをイメージしたトロフィーの授与を着想しました。広島市立基町高等学校の高校生にデザインを依頼、尾道市で活躍する陶芸家吉野瞬氏に陶器トロフィーを制作していただきました。広島平和記念公園にある「原爆の子」の像の折り鶴灰を陶器の釉薬（ゆうやく・うわぐすり）と調合し、出来上がったトロフィーに釉薬を掛けて焼き上げ完成させたものです。



優勝チームへ授与した陶器トロフィー



2位から8位のチームへ授与した陶器トロフィー



開会式にて、選手代表に襟をかける様子



1位でゴールする長野県チーム

大創産業代表取締役社長矢野靖二は、前日に行われた開会式で次のようにコメントしています。「本大会のスポンサーを務めることでスポーツ振興の一翼を担うと同時に、世界平和を発信する機会にできないかと考えております。優勝チームへトロフィーを提供させていただいておりますが、今年は市内の高校生に陶器製のトロフィーを作ってもらいました。仕上げにつかう釉薬には、平和記念公園の“原爆の子”の折り鶴灰を調合しております。スポーツをとおして皆様の心が一つになり、平和の大切さを伝える機会にもなるとうれしく存じます。」

天皇盃 全国都道府県対抗男子駅伝競走大会（略称：天皇盃 第25回全国男子駅伝）

全国毎年1月に実施される同大会は、国内の男子陸上競技の中・長距離選手の強化育成と競技普及を目的に、平和記念公園前を発着点に、広島、廿日市市内を駆ける48.0kmのコースを全国47都道府県のチームで競うもので、例年30万人を超える観客が沿道を埋めています。

■株式会社大創産業について

大創産業は、1977年12月に設立、「だんぜん！ダイソー」をスローガンに、生活必需品から趣味趣向品まで生活を豊かにする商品約70,000種類を取り扱っています。2019年3月現在、「DAISO」を世界28の国と地域に5,542店舗展開しています。（国内3,367店、海外27の国と地域に2,175店）毎月約800種類の新商品を開発し、2019年3月期の売上げは4,757億円となっています。

所在地：広島県東広島市西条吉行東1丁目4番14号

<https://www.daiso-sangyo.co.jp/>

本件に関するお問合せ先

■株式会社大創産業 広報課 大佐古

TEL:082-426-3831 e-mail: grp_kouhou@daisojapan.com